

# 75歳以上に 医療・保険で差別



明るい小矢部  
No.158  
2007年10月号  
発行  
日本共産党  
小矢部市委員会  
小矢部市七社 245  
砂田喜昭  
TEL 67-4322  
FAX 67-4842

## 9月定例市議会報告

### 後期高齢者医療制度の見直し・中止を

砂田市議は「11月に開かれる富山県後期高齢者医療広域連合の議会で、小矢部市を代表して組合議員となられた桜井市長に、次の2点を主張していただきたい」と質問しました。

- ① 国民皆保険の原則をふまえ、低所得者から滞納を口実に、保険証を取り上げないこと。
- ② 低所得者のために保険料減免制度の創設

桜井市長 「二つの提言については、高齢者の立場に十分に配慮し、公平な制度となるよう、そしてこの制度が長続きできて安心感の持てる制度となるよう、しっかりと働きかけていきたい」と答えました。

来年4月から75歳以上の高齢者はすべて、別立ての医療保険制度に強制加入させられます。

保険料は概算で月6500円となり、介護保険料3700円と合わせ、1万円以上が年金から天引きされます(年金額月1万5千円以上)。年金がそれより少ない人は自分で保険料を納めなければなりません。滞納すると保険証を取り上げられることが懸念されています。

#### 後期高齢者医療制度とは

また、後期高齢者は、診療報酬も他世代と「別建て」にされます。「後期高齢者の心身の特性にふさわしい診療報酬体系」を口実に診療報酬を引き下げ、「手抜き医療」になる危険があります。

このように、自民党・公明党の政府は、「長生きしてもらったら困る」「75歳になったら早く死ぬ」といわんばかりのひどい制度をつくったのです。

### 市営バスの運行改善を

#### 高齢者が自分の意志で自由に出歩けるように

砂田喜昭市議は9月議会一般質問で、正得地区タウンミーティングで出された意見を紹介し、市営バスなどの運行改善を求めました。

#### 市営バス

巡回方式にあらため、一日の運行回数を増やすこと

砂田 高齢者が自分の意志で自由に出歩けるようにキーバスを運行して欲しい。2時間ごとに市内を巡回する方式で一日6回程度運行してはどうか。2台のバスで、一回廻るのに1時間半かかったとしても、運転手の休憩時間もとれる、市として経費もいままでとそんなに変わらないのではないかな。



### 水道料値下げへ

#### 新たな署名運動

水道料金の値下げを求めるとる会(事務局 八尾三紀夫氏)は県知事に県営子撫川ダムからの水道水の単価、協定水量の引き下げなどを求める新たな署名運動を始めました。

昨年小矢部市では1立方メートル当たり10円、一般家庭で5.23%の値下げとなりましたが、依然として県下で2番目に高いので、さらなる値下げをめざして運動を進めています。

#### 市議会も 一丸となって要求

9月議会では、保守系の政友会も代表質問で「水道料金の値下げ」を要求。産業建設常任委員会は本会議への報告で値下げを要望しました。市当局も、高岡市、氷見市などと協力して県企業局と強力に交渉しています。

#### 福祉バス

砂田 地区社会福祉協議会などが三世交代交流として市外視察を実施した。スクールバスを活用して行っている福祉バスを利用したい。地区主催の行事はダメだと断られたが、ぜひ改善して欲しい。

地区社会福祉協議会などの行事に利用できるように要綱の改善を

砂田 市内にはマイクロボバス、観光バスの旅客業者数社があり、福祉バスが民間業者の営業妨害とならないよう市が参画する事業かどうかが必要な条件である。しかし、現状でこの判断基準が抽象的でわかりにくいので、名称をはじめ運行対象事業などの見直し作業を行っている。



皇太子妃雅子さんのことを書いた「プリンセス・マサコ」の日本語訳が大手出版社で企画されたが、発行中止とされたが、発行中止となった。宮内庁が今年2月、著者のベン・ヒルズ氏に抗議した直後だ。言論統制は戦前だけの話ではないようだ▼これを知って私は英語の原著を入手し、辞書を片手に読み始めた。その矢先、この9月に第三書館から邦訳がでた。帯には「有能な女性が被害者となった人権喪失の記録」とある▼インターネットが発達し、国民は政府が匿そうとする情報でも容易に手に入られる。○○「劇場」政治にだまされにくい時代が始まったのではないだろうか▼参院選は、日本でも国民が政治を動かせるという当たり前のことを証明して見せた。安倍前首相は所信表明演説の直後に政権を降り出した。▼そんな人物の肝いりで教科書から削除された「沖縄での革命による集団自決」も、元に戻る気配だ。沖縄県民11万人の怒りの集会在文部科学大臣の背中を押した。▼以前だと、大手マスコミはこのような大衆運動を統制されたかのようにほとんど無視し、国民に知らせなかった。そのはるか以前から「格差と貧困」「戦争でテロはなくせない」と、国民の運動を報道し続けたのが「しんぶん赤旗」であり、日本共産党だった。私たちがそれから勇気をもらい、粘り強く運動してきた▼政府は障害者自立支援法や後期高齢者医療制度の凍結、見直しを口に出した。「凍結ではダメ。法律を変えて」と市職員の一人は一蹴する。総選挙までの「演技だ」と見抜く人たちも確かに増えている。